

絵本制作の現場

～スケッチから完成まで～

今年4月から始めました友の会創立35周年記念講演会も6回目となりました。いよいよ今回がラストとなります。

実際に絵本はどのようにしてできるのか。永田萌館長の新作絵本を通して作家や挿画家の連携と切磋琢磨、表現の工夫など、一人五役とも七役とも言われる絵本制作の実際をご紹介します。

“文と絵が並んでいるだけ”と思われがちな絵本の奥深さを知り、さらに絵本に親しんでいただけるきっかけになればと思います。

永田 萌さん

(イラストレーター、絵本作家)

1月26日(土)

14時～(開場13時30分)

姫路市市民会館4階 第6会議室 (姫路市総社本町112)

永田館長プロフィール

加西市出身、賢明女子学院を卒業後、出版社などで、グラフィックデザインの仕事に携わり、1975年にイラストレーターとして独立。豊かで美しい色彩から生み出される独特の「花と妖精」の世界は、国内外を問わず広く親しまれている。

これまでに、画集やエッセイなど約160冊余を出版されており、日本郵便発行の切手は、これまでに39種が制作されている。

また、教育や子育て、街づくりをテーマに講演会や委員会委員を務められている。

現在は、京都市子育て支援総合センターこどもみらい館の館長や成安造形大学名誉教授としても活躍中。

2018年4月から姫路市立美術館館長に就任。

☆定員：100人

当日は会場に直接お越しくください。講演は40分程度です。

☆受講料：無料

(友の会会員以外の方は年会費800円が必要になります。)

☆市民会館に駐車場はありませんので、
周辺駐車場または公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】〒670-0012 姫路市本町 68-25

姫路市立美術館友の会事務局 電話 079-222-2288